

授業科目名	音楽療法各論Ⅱ	担当形態	講義		
		開講学期	春学期		
担当教員	猪狩 裕史	単位	2	年次	3

＝授業のテーマ及び到達目標＝

1. 音楽療法の対象者である精神疾患を持った患者を理解するために、様々な精神疾患について学び、理解を高める。
2. 音楽療法実践の理論的な基盤となる、心理療法における理論的な枠組みについての知識を高める。
3. 実践活動に役立てるため、または実践活動の事前知識として、精神科領域で行われている音楽療法についての知識を、文献を通して習得する。
4. 精神科、心療内科の患者を対象とした音楽療法体験の計画を立てることができるようになる。

＝履修の条件と学習の方法＝

下記の課題を行い、提出すること。

1. 精神科、心療内科の音楽療法に関する論文を三編読み、一編につき本文一から二ページのレポートを作成し、Microsoft Word ファイルで提出する。第一段落目には論文の要約を書き、第二段落目には、自分がその論文から学んだこと、感想、それがどのように音楽療法の実践に活かされるかなどを書く。
2. 精神科、または心療内科領域の音楽療法活動計画を三つ作成し提出する。そのうち一つを授業内で発表する。
3. 心理療法における理論的な枠組みの中から、興味のあるものを一つ選び、その基礎概念、歴史、臨床における適用、音楽療法への適応について、文献調査をして、10ページ程度の論文としてまとめる。またそれを授業中に Microsoft PowerPoint を用いて発表する。
 - ・ 体調不良や家庭の事情で欠席する場合は、授業開始までにメールか電話にて連絡を入れること。欠席した場合は、前の授業で何が配布されたかを他の受講生に聞いて確認し、その資料を担当教員のところまで取りに来ること。
 - ・ 授業で扱う内容については、シラバスや授業進行スケジュールに従い事前に読んでくること。

＝授業の概要＝

これは、日本音楽療法学会で認定する音楽療法士（補）受験資格を習得するために必要な科目である。主専攻以外の学生が取得する場合は、音楽療法について学ぶ意欲を持っていること。また、音楽療法総論とその他の音楽療法科目をほとんどすべて履修していることが望ましい。

＝授業計画＝

- 1回 シラバスを用いての授業と課題についての説明、シアーズの『ミュージックセラピーの過程』（プリント）、ブルシアの『音楽経験の型』（プリント）、音楽療法の定義
- 2回 行動・情動（感情）障害の分類「音楽療法入門」Ⅱ 第8章（pp. 105-124）「成人精神疾患の治療における音楽療法」第4部
- 3回 心理療法における理論的な枠組み「成人精神疾患の治療における音楽療法」第8章 「音楽療法入門」Ⅲ 第15章（pp. 190-199）
- 4回 図書館文献検索システムについて
- 5回 分析的音楽療法について
- 6回 統合的アプローチについて（ミュージックカウンセリング）
- 7回 GIM(Guided Imagery and Music、誘導イメージと音楽)について 「音楽療法入門」Ⅲ 第15章（pp. 188-190）
- 8回 臨床における音楽療法プログラム①「成人精神疾患の治療における音楽療法」第3部とⅠ-Ⅲ、ブルシアの『音楽経験の型』（プリント）
- 9回 臨床における音楽療法プログラム②「成人精神疾患の治療における音楽療法」第3部とⅣ-Ⅵ、ブルシアの『音楽経験の型』（プリント）

- 10回 医療現場での音楽療法「音楽療法入門」II 第11章、*論文課題と活動計画課題1つ目提出
11回 ホスピスと緩和ケアの音楽療法 「音楽療法入門」III 第12章、倫理について 「音楽療法入門」III 第15章(pp. 155-163) *論文課題と活動計画課題2つ目提出
12回 矯正的精神科での音楽療法「音楽療法入門」II 第9章 *論文課題と活動計画課題3つ目提出
13回 音楽療法活動計画発表
14回 心理療法における理論的な枠組みのクラス発表
15回 心理療法における理論的な枠組みのクラス発表

=テキスト(必携)=

《No.1》

書籍名：〈第3版〉「音楽療法入門」II

著者名：デイビス、グフェラー、タウト(著) 栗林文雄(監訳)

出版社：一麦出版社

《No.2》

書籍名：〈第3版〉「音楽療法入門」III

著者名：デイビス、グフェラー、タウト(著) 栗林文雄(監訳)

出版社：一麦出版社

《No.3》

書籍名：「成人精神疾患の治療における音楽療法」

著者名：アンケファー、タウト(著) 廣川恵理(訳)

出版社：一麦出版社

=参考書・参考資料(必携)=

シアーズの『ミュージックセラピーの過程』(プリント)、ブルシアの『音楽経験の型』(プリント)

=成績評価の方法と評価の基準=

- ・ 論文課題各10%(合計30%)、活動計画各10%(合計30%)、心理療法における理論的な枠組みクラス発表(合計30%) 授業への取組み 10%
- ・ 無断遅刻は1%、無断欠席は2%の減点。課題提出の遅れも一日遅れる毎に1%の減点となる。
- ・ これらの点数を合計し、90点以上はS、80点~90点未満はA、70~80点未満はB、60~70点未満はC、60点未満はDとなる。

=その他=